

長野市議会
議長 寺沢 さゆり 様

小中学校の女子トイレに生理用品設置を求める請願

請願者 新日本婦人の会長野支部
支部長 大村 美保子
住 所 長野市若里3-5-5

紹介議員

小林史子 竹崎英一
佐藤久美子 野々村博美
黒沢清一 滝沢直一
阿部孝二 小泉一

【請願趣旨】

新型コロナウイルス感染拡大にともなう経済状態の悪化により、「生理の貧困」という言葉が生まれました。しかし、この問題は貧困問題だけではなく「女性の性」にかかわる健康と権利の尊重を求める重要な問題です。

今までは「生理」「生理用品」という言葉がタブー視され、女性の性について正しく理解されていませんでした。今でも恥ずかしくて生理になったことを言えない児童・生徒もいます。しかし、肉体的・生理的・医学的見地から女性は月に1回生理になります。これは、恥ずかしいことではなく、新しい命を生み出す源。女性だけのとても大切なことです。

人によっては周期が不順な児童・生徒もおり、突然生理になる時もあります。生理に気が付くのはトイレです。学校のトイレで生理になったことに気が付いたとき、トイレに生理用品があればどんなに嬉しいことか想像してみてください。すぐに使えるので衛生的でとても助かります。トイレで生理に気が付いてから保健室に取りに行くのは、とても大変なことだと思いますか。

また、世界的には生理用品の無償提供、非課税の取り組みなど、全国的にも学校のトイレに生理用品を設置した自治体が広がっています。

長野市でも、生理用品をトイレに設置し、生理用品をいつでも安心して手にできる環境を整えることが、すべての児童・生徒の健康や尊厳を守ることに繋がっていきます。

児童・生徒が安心して通学でき、心も身体も健康で衛生的な生活を保障するために、生理用品を~~トイレにトイレットペーパーと同じ様に~~学校のトイレに設置してください。

【請願項目】

1. 児童・生徒が安心して通学でき、健康で衛生的な生活を保障するために小中学校の女子トイレに、返却不要の生理用品を設置してください。